

都バスでの JAPAN-GTL 軽油による実証走行について

日本 GTL 技術研究組合（理事長：松村幾敏）は、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構（理事長：河野博文、以下「JOGMEC」）と共同で、東京都環境局並びに東京都交通局の協力の下、本日より約 3 ヶ月間にわたり、東京都内の路線バス 2 両による GTL 軽油（「JAPAN-GTL 軽油」）を用いた実証走行を実施しますので、お知らせいたします。

GTL 軽油とは、天然ガスの液体燃料化技術（GTL（GAS-TO-LIQUIDS の略）技術）により製造した軽油であり、硫黄分、芳香族分等の不純物を含まない環境に優しいクリーン燃料です。また、GTL 技術は、軽油の他にもナフサや灯油等の燃料を製造することが可能であり、石油代替の燃料ソースの確保と多様化を可能にする有効な手段として期待されています。

今回使用するのは、日本 GTL 技術研究組合と JOGMEC が共同で開発している我が国独自の GTL 技術（JAPAN-GTL プロセス）を用い、国産天然ガスを原料に、新潟市に建設した実証プラント（日産 500 バレル（約 80 キロリットル）規模）で製造された「JAPAN-GTL 軽油」です。

日本 GTL 技術研究組合は、本実証走行を通して、次世代の液体燃料に関する技術開発のより一層の推進を図ってまいります。



1 実証走行の目的

次世代のクリーンで環境にやさしい燃料として期待されている GTL について、排出ガス性状等への影響調査を実施した上で、東京都内の路線バスによる GTL 軽油を使用したデモンストレーション走行を行うことを目的とします。

2 実証走行概要

- ・実施期間： 平成 22 年 9 月 13 日から約 3 ヶ月
- ・実施場所： 東京都交通局 南千住自動車営業所（荒川区南千住 2-33-1）
- ・使用バス： ハイブリッド車 2 両
- ・燃料： JAPAN-GTL 軽油 100% （日本 GTL 技術研究組合より供給）

3 実証走行実施メンバー

- ・日本 GTL 技術研究組合、JOGMEC、東京都環境局及び東京都交通局

4 日本 GTL 技術研究組合の概要

- ・理事長： 松村幾敏（JX 日鉱日石エネルギー株式会社 顧問）
- ・所在地： 東京都港区新橋 1-1-1 日比谷ビル 8 階
- ・組合員： 国際石油開発帝石株式会社
JX 日鉱日石エネルギー株式会社
石油資源開発株式会社
コスモ石油株式会社
新日鉄エンジニアリング株式会社
千代田化工建設株式会社

以上